

## 6月20日(土) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

8:30~9:10

### 教育講演 19

日→英 AI 翻訳あり

司会：新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

EL19

#### 認知症有病率の時代的变化とその要因の検討：久山町研究

○小原 知之<sup>1,2</sup>、二宮 利治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院精神病態医学、<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学



9:10~9:50

### 教育講演 20

日→英 AI 翻訳あり

司会：中村 和彦 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

EL20

#### 小児期逆境体験と小児期保護体験の中長期的影響

○榊屋 二郎

東京医科大学精神医学分野



9:50~10:30

### 教育講演 21

日→英 AI 翻訳あり

司会：竹内 啓善 千葉大学大学院医学研究院精神医学

EL21

#### クロザピン治療の最適化を考える

○三浦 至

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座



10:40~11:20

### 教育講演 22

日→英 AI 翻訳あり

司会：佐久間 寛之 国立病院機構さいがた医療センター精神科

EL22

#### 違法薬物の依存症を抱える人の地域支援体制の構築～ [Voice Bridges Project]

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部





11:20~12:00 **教育講演 23**

日→英 AI 翻訳あり

司会：河野 美帆 医療法人一誠会都城新生病院児童・思春期精神科

EL23 **不登校の児童・生徒に対する一般精神科医によるプライマリ・ケア**

○野村 健介

島田療育センター / 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



12:00~12:40 **教育講演 24**

日→英 AI 翻訳あり

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

EL24 **統合失調症治療における抗精神病薬の使い分けに関する考察**

○鈴木 健文

山梨大学医学部精神神経医学講座



13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 16**

**精神科医が遭遇する睡眠障害**

司会：松原 良次 特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院

SPL16-1 **精神科診療に欠かせない睡眠障害の臨床的問題**

○神林 崇

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIIS) / 茨城県立こころの医療センター

SPL16-2 **睡眠の謎に挑む：基礎神経科学から社会実装研究まで**

○柳沢 正史

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIIS)

共催：武田薬品工業株式会社

**6月20日(土) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)**

8:30~9:30 **特別講演 12**

英→日 AI 翻訳あり

司会：藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター


SL12 **Strengthening Mental Health Systems in Singapore: A Population Health and Tiered Care Approach**

○Swapna K. Verma

Institute of Mental Health, Singapore, Singapore



9:30~10:30	<b>特別講演 13</b> Challenges in Mental Healthcare in Korea (or East Asia)	英→日 AI 翻訳あり
司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座		

SL13	<b>Mental Health Challenges in Korea: Youth Suicide, Severe Mental Illness, Migration, and AI</b> ○Young-Chul Chung Department of Psychiatry, Jeonbuk National University Medical School, Korea	
------	---	---

10:40~12:40	<b>会長企画シンポジウム 7</b> Social Implementation of Early Psychiatric Intervention in Japan: Learning from Initiatives in Asia	英→日 AI 翻訳あり
司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル 高橋 努 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座		

PS7-1	<b>Implementation of Early Psychiatric Intervention in Japan</b> ○根本 隆洋 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 東邦大学医学部精神神経医学講座、 <sup>2</sup> 東邦大学医学部社会実装精神医学講座
-------	---

PS7-2	<b>Social Implementation of Community-Based Early Psychiatric Intervention: The Korean Mindlink Model</b> ○Sung-wan Kim Chonnam National University Medical School, Korea
-------	---

PS7-3	<b>Twenty-year Experiences of Early Intervention of Psychosis in Taiwan: Initiating from Research to Implementing a Nationwide Service</b> ○Chen-chung Liu Department of Psychiatry, National Taiwan University Hospital, Taiwan
-------	--

PS7-4	<b>Cross-population Observations of Early Intervention in Psychosis and Youth Mental Health: Strategies and Outcomes</b> ○Eric Y.H. Chen Center for Youth Mental Health, University of Melbourne, Australia
-------	---

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

## 6月20日(土) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30~10:30	<b>シンポジウム 86 (精神療法研修委員会)</b> 復職を目指す人への精神療法的かかわりー主治医としてどう支えるかー	産業医学研修会対象セッション
司会：渡辺 俊之 渡辺医院／高崎西口精神療法研修室 池田 暁史 大正大学／個人開業		

SY86-1	<b>ある大うつ病患者に対する復職支援</b> ○岩木 久満子 顕メンタルクリニック
--------	--



SY86-2

休めない・休みたがらない患者に、しっかり休んでもらう精神療法的かかわり

○新村 秀人

大正大学臨床心理学部

SY86-3

復職を目指す人への精神療法的かかわりー復職が難航する患者の絶望に主治医はどう向き合うかー

○久我 弘典

国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

SY86-4

発達障害と仕事を休むこと・仕事にもどることー「休む」「もどる」とは何なのか精神療法的に考えるー

○田中 裕記

国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター

〔指定発言者〕

日吉 史一

国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

〈メインコーディネーター〉 久我 弘典

国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

〈サブコーディネーター〉 池田 暁史

大正大学/個人開業

10:40~12:40

### シンポジウム 87

精神疾患の新概念の創出:ICD/DSMを超える精神疾患の新潮流

司会：村井 俊哉

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

中尾 智博

九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

SY87-1

精神疾患の新概念の創出：ICD/DSMを超える精神疾患の新潮流の導入

○橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

SY87-2

DSM-5TR時代の「ひきこもり」：精神医学における位置付けを多元モデルで再考し新たな支援を創出する

○加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY87-3

シナプス自己抗体による精神神経疾患の診断と治療

○塩飽 裕紀

東京科学大学精神行動医科学分野

SY87-4

精神疾患横断的な大脳皮質下領域体積の大規模解析およびデータ駆動型新規分類

○岡田 直大

東京大学医学部附属病院

SY87-5

側脳室体積拡大と認知機能障害を伴うEVCII群の層別化による病態解明研究

○松本 純弥<sup>1</sup>、中澤 敬信<sup>1,2</sup>、安田 由華<sup>1,3</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

<sup>2</sup>東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科、<sup>3</sup>医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック

〔指定発言者〕

夏莉 郁子

やきつべの径診療所

〔指定発言者〕

中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

〈メインコーディネーター〉 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部  
〈サブコーディネーター〉 村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）  
松本 純弥 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 17**

司会：高橋 英彦 東京科学大学

SPL17 **気分障害における認知機能障害を考える**

○加藤 忠史  
順天堂大学精神医学講座

共催：武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社

**6月20日（土） D会場（パシフィコ横浜ノース 2F G215）**

9:00~12:30 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 8**  
「向き合う」ためのトラウマ診療12の基本

司会：金井 講治 三重大学保健管理センター  
佐久間 篤 国立病院機構仙台医療センター

PW8 〈講演者〉  
西 大輔 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野  
大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター  
牧田 潔 愛知学院大学心理学部心理学科  
小俣 京子 久留米大学医学部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 大江 美佐里 久留米大学保健管理センター・久留米大学医学部神経精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 松本 和紀 こころのクリニック OASIS

14:05~16:05 **シンポジウム 88**  
日本に暮らす難民・避難民のメンタルヘルスとその支援を考える

司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック  
秋山 剛 NTT東日本関東病院

SY88-1 **精神科救急と外国人・難民支援：制度の隙間と現場の対応**

○花岡 晋平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>千葉県総合救急災害医療センター、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会医学講座

SY88-2 **日本へ避難したウクライナ人の適応、精神的健康状態および医療制度に対する認識に関するアンケート調査**

○ブルツエバ ナタリア<sup>1</sup>、上里 彰仁<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>NPO法人外国人女性の会バルヨン、<sup>2</sup>国際医療福祉大学基礎医学研究センター

SY88-3 **日本の難民認定制度の課題—難民らの医療機関へのアクセスは向上できるか？**

○鶴川 晃  
大正大学地域創生学部公共政策学科



SY88-4

日本におけるイスラム文化背景をもつ難民・避難民のメンタルヘルス課題と支援の視点

○上里 彰仁

国際医療福祉大学基礎医学研究センター

〈メインコーディネーター〉 桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

6月20日(土) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G304)

8:30~10:30

シンポジウム 89 (薬事委員会)

古い薬から学び、新しい薬で拓く—未来へつなぐ精神科処方 の合意形成

司会：橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

SY89-1

向精神薬における医薬品供給停止問題

○渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

SY89-2

古い薬は要らないのか? : pros and cons

○小路 純央<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>久留米大学高次脳疾患研究所、<sup>2</sup>久留米大学医学部神経精神医学講座

SY89-3

向精神薬の処方選択に関する学会員アンケート調査報告：意思決定における優先指標と供給安定性

○久保田 学

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

SY89-4

供給制約下で優先度が相対的に低いと判断される薬と、その背景

○貞廣 良一

国立がん研究センター

SY89-5

参加型合意形成セッション：向精神薬の“存在理由（存在意義）”を定義する

○安田 由華<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>医療法人フォスター生きたる育む輝くメンタルクリニック、<sup>2</sup>大阪精神科診療所協会

〔指定発言者〕

三村 将

慶應義塾大学予防医療センター

〔指定発言者〕

藤井 大資

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課医薬品産業・ベンチャー等支援政策室

〔指定発言者〕

堀内 史枝

愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

〈サブコーディネーター〉 古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

安田 由華

医療法人フォスター生きたる育む輝くメンタルクリニック/大阪精神科診療所協会

10:40~12:40 シンポジウム 90

攻める精神科治療:身体的リスクと精神科的ベネフィットを比較衡量し、最善の治療を組み立てる

司会: 石田 琢人 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院  
船山 道隆 足利赤十字病院

SY90-1 精神科薬物治療におけるアウトカム評価

○竹内 啓善  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

SY90-2 高い治療効果が出ている一方で、怖い有害事象が発生している時:治療方針決定の枠組み

○石田 琢人  
東京都立松沢病院内科

SY90-3 攻める精神科治療:治療抵抗性統合失調症におけるクロザピン治療

○三澤 史斉  
山梨県立北病院

SY90-4 リチウム治療のメリット、デメリットと中毒のリスクを最小化する工夫について

○久保 馨彦  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY90-5 電気けいれん療法(ECT)のリスク・ベネフィットを通して、攻める精神科治療を考える

○嶽北 佳輝  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

〔指定発言者〕

中村 嘉樹  
弁護士法人SOLA法律事務所

〈メインコーディネーター〉 石田 琢人 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院  
〈サブコーディネーター〉 竹内 啓善 千葉大学大学院医学研究院精神医学  
船山 道隆 足利赤十字病院

13:00~13:50 スポンサーレクチャー 18

司会: 寺田 浩 医療法人社団明光会あおいクリニック

SPL18 日常診療に潜む慢性便秘のマネジメント

○福土 審  
石巻赤十字病院心療内科/東北大学先端量子ビーム科学研究センター/東北大学

共催: ヴィアトリス製薬合同会社



14:05~16:05 シンポジウム 91  
うつ病診療ガイドライン2025全容公開

司会：馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック  
加藤 正樹 関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY91-1 日本うつ病学会. うつ病診療ガイドラインのこれまでと2025の全面改定について

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

SY91-2 重症度の評価（軽度、中等度/重度）とうつ病診療ガイドライン2025

○堀 輝  
福岡大学医学部精神医学教室

SY91-3 症状の特徴（特定用語・睡眠）に応じたうつ病治療戦略

○田近 亜蘭  
京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野

SY91-4 ライフステージ（児童・思春期、周産期、老年期）に応じたうつ病治療戦略

○馬場 元<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、<sup>2</sup>順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

SY91-5 DTD（後続・さらなる段階の治療）と維持期治療から考える、病状経過に応じたうつ病治療戦略

○加藤 正樹  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

6月20日(土) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303)

8:30~10:30 シンポジウム 92  
最新のテクノロジーと共生することでのへき地医療均てん化の実践

司会：熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室  
中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

SY92-1 北の大地のひきこもりを救うメタバース医療実現のためのはじめての一步

○加藤 隆弘  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY92-2 隠岐二次離島における精神科医療の補完としてのAI活用—メンタルヘルスチェックシステム KOKOROBOの試み—

○岩田 正明  
鳥取大学医学部精神行動医学分野

SY92-3 ヒューマノイドロボット・アバター導入による離島・へき地の精神科支援 — 長崎県での実践

○熊崎 博一  
長崎大学医学部精神神経科学教室

SY92-4 沖縄県における最新テクノロジーを用いた共生社会実装への取り組み

○高江洲 義和  
琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

SY92-5

**鹿児島島の離島へき地の精神医療の遠隔化**

○中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

**〔指定発言者〕**

岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

**〔指定発言者〕**

村井 俊哉

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

岩田 正明

鳥取大学医学部統合内科医学講座精神行動医学分野

10:40~12:40

**シンポジウム 93**

**児童・青年期の自傷と自殺**

司会：山下 達久

からすま五条・やましたクリニック

小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

SY93-1

**神経発達症（主にASD）の視点からみた児童・青年期の自傷と自殺**

○眞田 陸

福井大学医学部医学科病態制御医学講座精神医学

SY93-2

**閾値下の神経発達症特性と自傷・自殺**

○磯部 昌憲

京都大学医学部附属病院精神科神経科

SY93-3

**いじめとトラウマ関連症**

○亀岡 智美

兵庫県こころのケアセンター

SY93-4

**愛着外傷・境界性パーソナリティ症と自傷・自殺**

○崔 炯仁

いわくら病院

SY93-5

**プロトタイプアプローチ：児童・青年期の自傷・自殺**

○永田 利彦

壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 永田 利彦

壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 山下 達久

からすま五条・やましたクリニック

小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学



14:05~15:05 市民公開講座

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
辻野 尚久 済生会横浜市東部病院

OL シブサワ・コウのゲーム開発

○襟川 陽一  
株式会社コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長 兼 取締役会議長



6月20日(土) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

9:00~12:30 会長企画セミナー

精神科医に必要な神経診察と鑑別のポイントー器質的疾患を見逃さないために

司会：野川 茂 東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科  
色本 涼 東京農工大学健康・相談総合支援機構

SS <講演者> 野川 茂 東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科  
高橋 慎一 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中内科・脳神経内科  
齋藤 勇二 東京都立神経病院脳神経内科  
後藤 淳 足利赤十字病院内科

<メインコーディネーター> 野川 茂 東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科  
<サブコーディネーター> 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

14:05~16:05 シンポジウム 94

ビデオ脳波で学ぶ発作症候学ーてんかん発作の基本を原点から理解するー

司会：中瀧 理仁 徳島大学病院  
河合 三穂子 愛知医科大学精神科学講座

SY94-1 焦点意識減損発作～側頭葉てんかんを中心に～

○渡邊 さつき  
埼玉医科大学病院

SY94-2 運動症状が目立つ発作ーミオクローニー発作、強直発作、運動亢進発作ー

○西田 拓司  
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

SY94-3 けいれんと呼ばれる発作

○堀之内 徹  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY94-4 反応性が低下するが、身体症状が目立たない発作

○谷口 豪、齊藤 聡志、砂原 真理子、丸山 友佑、倉持 泉  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

<メインコーディネーター> 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部  
<サブコーディネーター> 西田 拓司 静岡てんかん・神経医療センター

## 6月20日(土) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

### 8:40~10:20 ワークショップ11 (児童精神科医療研修委員会) 児童精神科医療の治療論(1)

司会：岡田 俊 公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座  
笠原 麻里 医療法人財団青溪会駒木野病院

WS11 <講演者> 齊藤 まなぶ 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域  
三宅 和佳子 兵庫県こころのケアセンター  
吉村 裕太 福岡大学医学部精神医学教室  
緒方 治彦 関西医科大学精神神経科学教室

<メインコーディネーター> 齊藤 まなぶ 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域

### 10:50~12:30 ワークショップ12 (医療DXに関する委員会) オンライン診療・臨床実践アップデート

司会：高橋 一志 東京女子医科大学附属八千代医療センター  
木下 翔太郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

WS12 <講演者> 柴田 和郎 東京女子医科大学附属八千代医療センター  
八木 淳子 岩手医科大学附属病院  
内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック  
富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野  
岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

<メインコーディネーター> 高橋 一志 東京女子医科大学附属八千代医療センター  
<サブコーディネーター> 木下 翔太郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

### 14:15~15:55 ワークショップ13 (精神保健福祉法委員会) 医療保護入院制度をめぐる課題：現場の実践から制度のこれからを考える

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター  
藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

WS13 <講演者> 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター  
中島 直 医療法人社団新新会多摩あおば病院  
藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
小林 慧 東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室

<メインコーディネーター> 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター  
<サブコーディネーター> 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部



## 6月20日(土) | 会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

8:30~10:30 シンポジウム 95

“忘れ去られた”不安症:GADの重要性~その歴史・概念・病態・治療~

司会: 塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学学分野  
大坪 天平 東京女子医科大学附属足立医療センター

SY95-1 “忘れ去られた”不安症としてのGAD:その歴史と概念の変遷

○塩入 俊樹  
岐阜大学大学院医学系研究科精神医学学分野

SY95-2 GADの想定されるメカニズム

○戸田 裕之  
防衛医科大学校精神科学講座

SY95-3 GADに有効な薬物療法

○大坪 天平  
医療法人高仁会戸田病院

SY95-4 全般不安症 (GAD) への有効な精神療法について

○菊地 俊暁  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY95-5 「GAD診療ガイドライン」の作成状況

○高塩 理<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学、<sup>2</sup>東京医科大学八王子医療センター

〈メインコーディネーター〉 塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学学分野

10:40~12:40 シンポジウム 96

今後求められるポジティブ精神医学による認知行動療法への発展性

司会: 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル  
徳永 雄一郎 医療法人社団新光会不知火病院

SY96-1 ポジティブ精神医学の視点からみたりカバリーを目指す認知療法:Recovery-oriented Cognitive Therapy (CT-R)

○久我 弘典  
国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

SY96-2 認知行動療法がポジティブ精神医学に求めるもの

○菊地 俊暁  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY96-3 統合型精神科地域治療プログラム (OTP) とその発展的解釈からリカバリーを目指す認知療法 (CT-R) の体現へ

○喜田 恒<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人あさかホスピタル、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY96-4 今後求められるポジティブ精神医学による認知行動療法への発展性

○須賀 英道  
龍谷大学文学部

【指定発言者】

大野 裕  
大野研究所

〈メインコーディネーター〉 須賀 英道 龍谷大学短期大学部／龍谷大学文学部  
〈サブコーディネーター〉 大野 裕 大野研究所  
佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

14:05～16:05 シンポジウム 97  
精神科領域における音楽療法の適応と実践

司会：高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学  
寺田 浩 医療法人社団明光会こころとからだのクリニックあおいクリニック

SY97-1 精神科領域における音楽療法の現状

○村林 信行  
医療法人社団信俊会心療内科アーツクリニック大崎

SY97-2 作業療法として行う音楽療法

○馬場 存<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>駿河台大学、<sup>2</sup>東邦音楽大学

SY97-3 精神科外来での即興個人音楽療法の治療意義

○山下 晃弘  
医療法人社団緑会佐藤病院

SY97-4 精神科病院における集団音楽療法 ―音楽を効果的に取り入れるために必要なこと―

○大野 文緒  
医療法人社団輔仁会大宮厚生病院

【指定発言者】

山本 賢司  
東海大学医学部総合診療学系精神科学

〈メインコーディネーター〉 山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学  
〈サブコーディネーター〉 村林 信行 医療法人社団信俊会心療内科アーツクリニック大崎  
馬場 存 駿河台大学心理学部



# 6月20日(土) J会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30 **シンポジウム 98**

一般精神科医のための前頭側頭型認知症診断のエッセンス

司会：川勝 忍 福島県立医科大学会津医療センター附属病院  
橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室

**SY98-1 前頭側頭型認知症とは何か 概念の成立とその変遷**

○品川 俊一郎  
東京慈恵医科大学附属病院精神神経科

**SY98-2 前頭側頭型認知症の画像診断**

○小林 良太<sup>1</sup>、川勝 忍<sup>2</sup>、森岡 大智<sup>1</sup>、鈴木 昭仁<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>福島県立医科大学会津医療センター附属病院

**SY98-3 日常診療に役立つ前頭側頭型認知症の臨床神経病理のエッセンス**

○川勝 忍<sup>1</sup>、小林 良太<sup>2</sup>、森岡 大智<sup>2</sup>、錫谷 研<sup>1</sup>、鈴木 昭仁<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、<sup>2</sup>山形大学医学部精神科学教室

**SY98-4 一般精神科医の力量が試されるとき～FTDと精神疾患の鑑別～**

○佐久田 静  
近畿大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 小林 良太 山形大学医学部精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵医科大学精神医学講座  
川勝 忍 福島県立医科大学会津医療センター附属病院

10:40~12:40 **シンポジウム 99 (認知症委員会)**

精神科医が知っておきたい認知症関連ガイドラインの現在地

司会：田口 真源 医療法人静風会大垣病院  
繁信 和恵 公益財団法人浅香山病院

**SY99-1 認知症疾患診療ガイドラインの改訂状況**

○吉山 顕次  
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

**SY99-2 アミロイドPET、脳脊髄液・血液バイオマーカーの適正使用ガイドラインについて**

○小原 知之  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

**SY99-3 認知症のBPSDに対するガイドライン**

○品川 俊一郎  
東京慈恵医科大学附属病院精神神経科

**SY99-4 「ヘルスケアサービス利用者・事業者も使用可能な認知症に対する非薬物療法指針」の公開と課題**

○数井 裕光  
高知大学医学部神経精神科学講座

〈メインコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 田口 真源 医療法人静風会大垣病院

14:05~16:05

## シンポジウム 100

JPSC-AD 研究の10年:日本発の大規模認知症コホート研究の軌跡と未来

司会: 文 鐘玉 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
小原 知之 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

SY100-1

### 健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究 (JPSC-AD) について

○小原 知之<sup>1,2</sup>、二宮 利治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院精神病態医学、<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学

SY100-2

### 伊予市中山町調査の軌跡と未来

○伊賀 淳一

愛媛大学大学院精神神経科学講座

SY100-3

### 認知症研究の先にある健康長寿: JPSC-AD / Arakawa Geriatric Cohort Study が示す老年期の心理社会的基盤

○喜田 恒<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>2</sup>社会医療法人あさかホスピタル

SY100-4

### Yahaba Active Aging and Healthy Brain Study -YAHABA study-

○石塚 直樹、赤坂 博、前田 哲也

岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野

SY100-5

### JPSC-ADにおける脳MRIデータ基盤と汎用画像解析プログラムの開発

○館脇 康子

東北大学加齢医学研究所

〈メインコーディネーター〉 文 鐘玉 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
〈サブコーディネーター〉 小原 知之 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

## 6月20日(土) K会場(パシフィコ横浜ノース 3F G320)

8:30~10:30

## シンポジウム 101

口腔領域の連携診療から考えるリエゾン医療のあり方

司会: 宮岡 等 北里大学  
宮地 英雄 こころのホスピタル町田精神科

SY101-1

### 歯科医のニーズに応えられる精神科診療とは?—身体症状症の診療経験から

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

SY101-2

### 口腔顔面痛において歯科医が精神科連携を考えると

○村岡 渡

川崎市立井田病院歯科口腔外科

SY101-3

### 精神科連携の困難さと協働に向けての要点

○上野 繭美<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>鶴見大学歯学部口腔内科学(口腔外科学第二)講座、<sup>2</sup>医療法人誠心会神奈川病院・あさひの丘病院



SY101-4

「精神科連携リテラシー」について考える

○宮地 英雄

こころのホスピタル町田精神科

〔指定発言者〕

宮岡 等

北里大学

〈メインコーディネーター〉 宮地 英雄      こころのホスピタル町田精神科

〈サブコーディネーター〉 宮岡 等      北里大学

名越 泰秀      京都第一赤十字病院

10:40~12:40

シンポジウム 102

がん患者の精神症状緩和:新たな診断、治療開発研究の最前線

司会: 内富 庸介  
明智 龍男

東京慈恵会医科大学がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座  
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

SY102-1

がん患者の術後せん妄予防に対するラメルテオンの有効性の検証-多施設共同二重盲検ランダム化比較試験

○貞廣 良一<sup>1</sup>、榎戸 正則<sup>2</sup>、松田 能宣<sup>3</sup>、山口 拓洋<sup>4</sup>、有吉 恵介<sup>5</sup>、小山田 隼佑<sup>5</sup>、内富 庸介<sup>6</sup>、  
明智 龍男<sup>7</sup>、八田 耕太郎<sup>8</sup>、松元 和子<sup>1</sup>、平山 貴敏<sup>9</sup>、中原 理佳<sup>1</sup>、山口 順嗣<sup>1</sup>、寺田 立人<sup>1</sup>、  
柳井 優子<sup>1</sup>、小川 祐子<sup>1</sup>、茅野 綾子<sup>1</sup>、小川 朝生<sup>1</sup>、岩田 有正<sup>1</sup>、所 昭宏<sup>3</sup>、橋本 浩伸<sup>1</sup>、前田 誠<sup>1</sup>、  
山本 昇<sup>1</sup>、沖田 南都子<sup>1</sup>、寄兼 映子<sup>1</sup>、佐藤 哲文<sup>1</sup>、關本 翌子<sup>1</sup>、佐々木 千幸<sup>1</sup>、齋藤 英子<sup>10</sup>、  
松岡 弘道<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立研究開発法人国立がん研究センター、<sup>2</sup>国家公務員共済組合連合会斗南病院、

<sup>3</sup>国立病院機構近畿中央呼吸器センター、<sup>4</sup>東北大学、<sup>5</sup>NPO法人JORTC、<sup>6</sup>東京慈恵会医科大学、<sup>7</sup>名古屋市立大学、

<sup>8</sup>順天堂大学、<sup>9</sup>こころサポートクリニック、<sup>10</sup>東京大学

SY102-2

精神疾患患者のがん検診受診勧奨プログラムの開発

○藤原 雅樹

岡山大学学術研究院医療開発領域精神科神経科

SY102-3

AYA世代がん患者の精神症状に対するスマートフォンアプリを用いた多施設ランダム化比較試験

○原田 喜比古<sup>1</sup>、岡村 優子<sup>2</sup>、倉田 明子<sup>3</sup>、松原 敏郎<sup>4</sup>、木尾 祐子<sup>1</sup>、内富 庸介<sup>5</sup>、古川 壽亮<sup>6</sup>、  
明智 龍男<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、

<sup>2</sup>国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部、<sup>3</sup>広島大学病院精神科/緩和ケアセンター、

<sup>4</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、<sup>5</sup>東京慈恵会医科大学サバイバーシップ・デジタル医療学講座、

<sup>6</sup>京都大学成長戦略本部

SY102-4

Managing Cancer And Living Meaningfully (CALM) の有効性

○宮本 せら紀<sup>1,2</sup>、吉内 一浩<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院心療内科、<sup>2</sup>赤坂心療内科クリニック

〔指定発言者〕

館野 歩

東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 倉田 明子      広島大学病院精神科

〈サブコーディネーター〉 明智 龍男      名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

14:05～16:05 **シンポジウム 103**  
**精神心理的フレイルへのアプローチ — ACP(人生会議)の理念から考える その人らしく生  
きる力への支援 —**

司会：金井 玉奈 富士リハビリ病院精神科  
松原 敏郎 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

**SY103-1 うつ病患者における「心のフレイル（プシコフレイル）」へのアプローチ**

○平島 奈津子  
オフィス朔

**SY103-2 認知症の人のACP (Advance Care Planning)**

○吉岩 あおい  
宇佐胃腸内科医院

**SY103-3 心不全診療におけるACP実践の現状と課題～精神心理的支援の視点も交えて～**

○岡田 健助  
公立昭和病院

**SY103-4 がん患者の立場からのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）と精神心理的フレイル**

○国兼 浩嗣  
富士いきいき病院

**SY103-5 精神・心理的フレイルへの介入としてのACP— 長期入院精神疾患患者における意思決定支援の実践  
と課題 —**

○金井 玉奈、小野寺 祐、引場 智、高橋 伸忠  
富士リハビリ病院精神科

**〔指定発言者〕**

松原 敏郎  
山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

〈メインコーディネーター〉 金井 玉奈 富士リハビリ病院精神科

〈サブコーディネーター〉 松原 敏郎 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座



## 6月20日(土) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G404)

9:00~12:30

### 精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ9

患者さんの「はたらきたい」にどう応えるか? ~パーソナルリカバリーに伴走する 精神科医のための精神療法・心理療法アセスメント体験ワークショップ~

司会：林 輝男 社会医療法人清和会西川病院  
山口 創生 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

PW9

〈講演者〉

林 輝男 社会医療法人清和会西川病院  
山口 創生 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座  
福武 周作 社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル  
原 敬 社会医療法人清和会西川病院

〈ファシリテーター〉

林 輝男 社会医療法人清和会西川病院  
山口 創生 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座  
福武 周作 社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル  
原 敬 社会医療法人清和会西川病院

〈メインコーディネーター〉 林 輝男  
〈サブコーディネーター〉 山口 創生

社会医療法人清和会西川病院  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

14:15~15:55

### ワークショップ14

家族が元気になる精神科医療を行うために

司会：高橋 恵 メンタルヘルス研究所/北里大学

WS14

〈講演者〉

伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ  
内門 大丈 医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南  
浅見 隆康 メンタルプラス家族支援訪問クリニック  
森 由加 リイリイファミリーグループ  
萩原 正人 長野県精神保健福祉会

〈メインコーディネーター〉 浅見 隆康  
〈サブコーディネーター〉 神出 誠一郎

メンタルプラス家族支援訪問クリニック  
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野

## 6月20日(土) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403)

8:30~10:30

### シンポジウム 104

神経発達症を持つ人々の能力発揮—多様な実践を基にした社会的展開と今後の展望—

司会：義村 さや香 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座  
上床 輝久 京都教育大学

SY104-1

#### 神経発達症の認知特性を強みに変える：産学連携による能力発揮支援の実践

○義村 さや香、山田 晶子

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座

SY104-2

#### ものづくりを介した神経発達症の強みの発現—TaKuBiの実践から—

○中野 育子、瀧澤 颯大

札幌こころの診療所

SY104-3

#### わざの修練と発達症特性について；武道の効能の観点から

○藤原 広臨

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学(精神医学)

SY104-4

#### 産業界におけるニューロダイバーシティの意義と実践

○木村 智行、山内 杏里彩、七澤 安希子

株式会社日本総合研究所

SY104-5

#### ニューロダイバーシティ経営が生む価値—特例子会社によるIT人材活用の実践—

○阿渡 健太

日揮パラレルテクノロジーズ株式会社

〈メインコーディネーター〉 義村 さや香 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座

〈サブコーディネーター〉 山田 晶子 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座

10:40~12:40

### シンポジウム 105

成人期自閉スペクトラム症の「自己理解」を支援する

司会：太田 晴久 昭和医科大学発達障害医療研究所  
柏 淳 ハートクリニック横浜

SY105-1

#### 日々の診察・面談での「自己理解」支援—支援としての特性整理・診断説明—

○吉田 友子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>千代田クリニック、<sup>2</sup>子どもとおとなの心理学的医学教育研究所

SY105-2

#### 認知行動療法に基づくACATは自閉症スペクトラム患者の「自閉特性への気づき」を高めメンタルヘルスを改善

○大島 郁葉

千葉大学

SY105-3

#### 成人期自閉スペクトラム症者の自己理解を支える場づくり—専門プログラムの役割—

○水野 健<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所、<sup>2</sup>昭和医科大学烏山病院



SY105-4 治療的集団の場は自己理解を促進する：あるASD当事者の例

○渡壁 典弘

当事者／SST普及協会

〔指定発言者〕

柏 淳

ハートクリニック横浜

〔指定発言者〕

加藤 進昌

公益財団法人神経研究所附属晴和病院

〈メインコーディネーター〉 太田 晴久

昭和医科大学発達障害医療研究所

〈サブコーディネーター〉 柏 淳

ハートクリニック横浜

14:05～16:05 シンポジウム 106

地域精神保健における早期介入法の教育的アプローチ

司会：張 賢徳

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座

SY106-1 支援困難な「社会的ひきこもり」におけるメタバースやVRによる新しい支援法の開発

○加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY106-2 島根県におけるギャンブル行動症支援体制構築のための3層型従事者研修システムについて

○小原 圭司<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>社会医療法人正光会松ヶ丘病院、<sup>2</sup>大阪商業大学

SY106-3 地域精神保健における保健師やボランティアへの教育について

○赤平 美津子<sup>1,2</sup>、大塚 耕太郎<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、<sup>2</sup>岩手県こころのケアセンター、

<sup>3</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY106-4 地域精神保健における早期介入法の教育的アプローチ

○大塚 耕太郎<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座、<sup>2</sup>岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、<sup>3</sup>岩手県こころのケアセンター

〔指定発言者〕

張 賢徳

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈メインコーディネーター〉 大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室／社会医療法人正光会松ヶ丘病院

小原 圭司

社会医療法人正光会松ヶ丘病院

## 6月20日(土) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401+G402)

### 8:30~10:30 シンポジウム 107 アルコール使用障害に対する心理社会的治療・アップデート

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
木村 充 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

#### SY107-1 アルコール使用障害治療における認知行動療法の現状と課題

○木村 充  
国立病院機構久里浜医療センター

#### SY107-2 動機づけ面接の“仕組み”を理解する ～アルコール依存症者にどのようにアプローチするのか？～

○澤山 透  
相模ヶ丘病院

#### SY107-3 小児期逆境体験をもつアルコール使用障害に対する内観療法

○塚崎 稔  
三和中央病院

#### SY107-4 「飲酒量を減らす」から「建設的な行動」への転換ー減酒治療の森田療法ー

○館野 歩  
東京慈恵会医科大学精神医学講座

#### SY107-5 アルコール使用障害に対する社会的治療 - 一般就労を目指して -

○椎木 昭雅<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>医療法人社団祐和会大石クリニック

#### 【指定発言者】

宮田 久嗣  
東京慈恵会医科大学精神医学講座／医療法人社団光生会平川病院

〈メインコーディネーター〉 塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院

### 10:40~12:40 シンポジウム 108 心と遺伝をつなぐ医療ー精神科と遺伝子疾患診療の融合から見える未来

司会：石黒 浩毅 山梨大学大学院医学域臨床遺伝学講座／山梨大学医学部附属病院遺伝子疾患診療センター／  
山梨大学大学院医学域精神医学講座  
久島 周 名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター

#### SY108-1 遺伝子疾患診療が照らす精神科医療の可能性

○石黒 浩毅<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>山梨大学大学院臨床遺伝学講座、<sup>2</sup>山梨大学大学院精神神経医学講座

#### SY108-2 ゲノム情報を活用した精神科ハイブリッド診療ー医療安全と長期支援の実装ー

○久島 周  
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

#### SY108-3 寄り添い支えるこどものころ：多職種チームにおける多彩な取り組み

○北村 千章  
清泉大学大学院看護学研究科看護学専攻助産学専攻



SY108-4

染色体疾患における医療の分断化とライフコース全体のケア：22q11.2欠失症候群におけるコ・プロダクション

○高橋 優輔

東京大学医学部附属病院精神神経科

〔指定発言者〕

堀内 泰江

静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科

〈メインコーディネーター〉 石黒 浩毅

山梨大学大学院医学域臨床遺伝学講座／山梨大学医学部附属病院遺伝子疾患診療センター／山梨大学大学院医学域精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 久島 周

名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター

13:00～13:50 スポンサーレクチャー 19

司会：中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

SPL19

うつ病の病態メカニズム-最新の話-

○岩田 正明

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

共催：塩野義製薬株式会社

14:05～14:45 教育講演 25

日→英 AI 翻訳あり

司会：三浦 至

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

EL25

地域と共に歩む精神医療とは― 統合型地域精神科治療プログラムの実践から ―

○佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル



14:45～15:25 教育講演 26

日→英 AI 翻訳あり

司会：成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

EL26

アルコール依存症

○松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター精神科



15:25~16:05 **教育講演 27**

日→英 AI 翻訳あり

司会：浅見 剛 横浜市立大学医学部精神医学教室教授

EL27

**こころとからだをつなぐ緩和ケア～誰一人取り残さない支援をめざして～**

○大西 秀樹

埼玉医科大学国際医療センター

〈メインコーディネーター〉 長谷川 花 静岡赤十字病院精神神経科



## 6月20日(土) ○会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30~10:30 **シンポジウム 109**

**摂食症への支持的精神療法**

司会：永田 利彦 壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック  
西園 マーハ 文 明治学院大学心理学部

**SY109-1 摂食症への支持的精神療法：プロトタイプアプローチ**

○永田 利彦

壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

**SY109-2 摂食症外来治療ガイドとしての心理教育**

○原田 朋子、松塚 巧

大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

**SY109-3 児童思春期患者への支持的精神療法**

○磯部 昌憲

京都大学医学部附属病院精神科神経科

**SY109-4 思春期摂食障害患者の支持的精神療法の課題と可能性**

○補永 栄子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院連合小児発達学研究所、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

**SY109-5 摂食障害難治例における、夢を用いた精神療法的アプローチについての一考察**

○林 公輔<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学環境情報学部、<sup>2</sup>信濃追分クリニック

〈メインコーディネーター〉 永田 利彦 壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 西園 マーハ 文 明治学院大学心理学部



10:40~12:40

### シンポジウム 110

精神科医療における肥満症への多角的アプローチ ～精神病理・摂食行動から最新の内科・外科的治療法まで～

司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室  
木村 宏之 名古屋大学医学部附属病院

**SY110-1 精神科診療における肥満症の問題**

○三條 克巳  
岩手医科大学医学部神経精神科学講座

**SY110-2 肥満症における Food Addiction 概念の臨床的意義—認知行動療法に基づく減量介入の縦断的検討—**

○野崎 剛弘<sup>1</sup>、西原 智恵<sup>2</sup>、須藤 信行<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>中村学園大学大学院栄養科学研究科、<sup>2</sup>九州大学伊都診療所、<sup>3</sup>九州大学大学院医学研究院心身医学

**SY110-3 「肥満症への減量・代謝改善手術と術前術後のメンタルフォローについて」**

○林 果林  
東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

**SY110-4 外科・薬物療法の時代におけるメンタルヘルスの関わり ～内科の立場から～**

○齋木 厚人  
東邦大学医療センター佐倉病院糖尿病内分泌代謝センター

**SY110-5 摂食症としての肥満症～症例を通じて、多職種連携を改めて考える～**

○吉村 知穂、松永 寿人  
兵庫医科大学精神科神経科  
  
〈メインコーディネーター〉 林 果林 東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

13:00~13:50

### スポンサードレクチャー 20

司会：菊知 充 金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学（神経科精神科）

**SPL20 うつ・不安の背後にある片頭痛—日常診療での新たな視点**

○端詰 勝敬  
東邦大学医療センター大森病院心療内科

共催：アッヴィ合同会社

14:05~16:05

### シンポジウム 111

精神医学的併存症を持つ摂食症の治療はどのように行われるべきか

司会：西園 マーハ 文 明治学院大学心理学部心理学科  
井野 敬子 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

**SY111-1 PTSDを併存する摂食症に対する認知行動療法の臨床**

○井野 敬子  
国立精神・神経医療研究センター

**SY111-2 強迫症を併存する摂食症患者に対する CBT-E 適用の利点と困難**

○野田 智美  
京都大学医学部附属病院

SY111-3 神経発達症を併存する摂食症に対する認知行動療法（CBT-E）の応用と臨床的工夫

○小原 千郷  
帝京大学文学部心理学科

SY111-4 物質使用症を併存する摂食症の臨床的特徴と治療

○松本 俊彦  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

〈メインコーディネーター〉 西園 マーハ 文 明治学院大学心理学部心理学科  
〈サブコーディネーター〉 井野 敬子 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

6月20日（土） P会場（パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417）

8:30~10:30 シンポジウム 112  
心と身体と社会をつなぐ：鍼灸との協働による新たな精神医療のモデル

司会：中村 元昭 昭和医科大学発達障害医療研究所  
松浦 悠人 東京有明医療大学

SY112-1 精神科医療における鍼灸のエビデンスと臨床応用の可能性

○松浦 悠人  
東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科

SY112-2 地域医療における鍼灸師と精神科医との連携の実際

○米倉 まな<sup>1</sup>、松浦 悠人<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>はりきゅう処こちめいど、<sup>2</sup>東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科

SY112-3 大学病院総合診療科と地域鍼灸院での連携方法とその効果について

○勝倉 真一  
獨協医科大学総合診療医学講座

SY112-4 鍼灸連携が切り拓く心身統合型精神医療

○中村 元昭<sup>1</sup>、吉田 勝臣<sup>2</sup>、伊津野 拓司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>昭和医科大学発達障害医療研究所、<sup>2</sup>神奈川県立精神医療センター

〔指定発言者〕

山本 高穂  
NHKコンテンツ制作局

〈メインコーディネーター〉 中村 元昭 昭和医科大学発達障害医療研究所  
〈サブコーディネーター〉 松浦 悠人 東京有明医療大学

10:40~12:40 シンポジウム 113（精神医学研究推進委員会）  
気分障害の分子病態に迫る最前線

司会：加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学講座

SY113-1 ゲノム解析から考える双極症の病態生理

○池田 匡志  
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学



SY113-2 シングルセル解析が拓く双極症の脳病態理解

○西岡 将基  
順天堂大学医学部精神医学講座

SY113-3 心理社会ストレスによる症状発現の多様性を創発する脳内メカニズム

○内田 周作  
東京科学大学

SY113-4 気分障害の背景病態としての神経変性疾患

○高畑 圭輔<sup>1,2,3</sup>、黒瀬 心<sup>1,2,3,4</sup>、樋口 真人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、  
<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>4</sup>トロント大学

〈メインコーディネーター〉 西岡 将基 順天堂大学医学部精神医学講座

14:05~16:05 シンポジウム114 (精神科医・精神科医療の実態把握委員会)  
全国で最低限の精神科医療を届けるために必要な医師数を考える

司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座  
辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター

SY114-1 日本における将来の精神科医必要数に関する検討

○稲垣 中  
青山学院大学教育人間科学部

SY114-2 北海道十勝地域におけるへき地の精神科医療の現状と課題

○新福 伸久<sup>1,2</sup>、本間 裕士<sup>1</sup>、宗岡 広弥<sup>1</sup>、澤山 初音<sup>1</sup>、中鉢 太郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構帯広病院、<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構北海道医療センター

SY114-3 精神科医が足りなければ、機能は失われるー 総合病院精神科における精神科医数の決定的影響 ー

○船山 道隆  
足利赤十字病院神経精神科

SY114-4 へき地・離島精神科医療を支える最新の科学技術を活用した遠隔支援モデルの構築

○熊崎 博一  
長崎大学医学部精神神経科学教室

SY114-5 離島・へき地を抱える鹿児島県の精神科医師数

○中村 雅之  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

〔指定発言者〕

富田 博秋  
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〔指定発言者〕

原田 昌範  
山口県立総合医療センターへき地医療支援センター

〈メインコーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部／青山学院大学保健管理センター

〈サブコーディネーター〉 中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

## 6月20日(土) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

### 8:30~10:30 シンポジウム 115 強迫症の生物学的知見と治療のUp Date

司会：松永 寿人 兵庫医科大学精神科神経科学教室  
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

#### SY115-1 強迫症の心理・生物学的知見のアップデート

○豊見山 泰史  
九州大学病院

#### SY115-2 セロトニン再取り込み阻害薬治療抵抗性強迫症に対する増強療法に関する知見

○村山 桂太郎  
九州大学病院

#### SY115-3 強迫症のニューロモデュレーション

○阿部 能成<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>杉本医院からすまメンタルクリニック精神科、<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

#### SY115-4 強迫症の心理教育や認知行動療法におけるモバイルアプリケーションの臨床的位置づけと活用方法

○向井 馨一郎、松永 寿人  
兵庫医科大学精神科神経科学講座

##### 〔指定発言者〕

松永 寿人  
兵庫医科大学精神科神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 村山 桂太郎 九州大学病院精神科神経科  
〈サブコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野  
豊見山 泰史 九州大学病院精神科神経科

### 10:40~12:40 シンポジウム 116 子ども・若者の自殺の現状と課題—自殺未遂症例を中心に—

司会：三上 克央 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学  
宇佐美 政英 国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター子どものこころ総合診療センター・児童精神科

#### SY116-1 子ども・若者の自殺の現状

○辻井 農亜  
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

#### SY116-2 若年の自殺企図症例の多様な背景へのアプローチ—精神科救急における多軸的評価と多職種連携—

○大重 耕三  
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

#### SY116-3 子ども・若者の自殺未遂症例の支援の実際

○三上 克央、渡邊 己弦  
東海大学医学部総合診療学系精神科学



SY116-4

子どもの自殺対策の現況について－自殺の危機にある子どもたちを地域で支えるために－

○並木 敬之

こども家庭庁自殺対策室

〈メインコーディネーター〉 三上 克央

東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学

〈サブコーディネーター〉 辻井 農重

富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

宇佐美 政英

国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター子どものこころ総合診療センター・児童精神科

14:05～16:05

### シンポジウム 117

ライフステージを通じた発達障害の心のケアにおける森田療法の活用：地域連携における共通理解にむけて

司会：高橋 秀俊

高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

館野 歩

東京慈恵会医科大学精神医学講座

SY117-1

児童青年期精神医学臨床における森田療法のポストコロナにおける展開

○山下 洋

九州大学病院子どものこころの診療部

SY117-2

発達障がいや知的障がいを持つ思春期の子どもとその親を支えるための森田療法的面接について

○原田 聰志

国立病院機構琉球病院

SY117-3

ライフステージを通じた発達障害臨床における森田療法的関わり：感じから出発する

○高橋 秀俊

高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

〔指定発言者〕

新村 秀人

大正大学臨床心理学部

〈メインコーディネーター〉 高橋 秀俊

高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

## 6月20日（土） R会場（パシフィコ横浜ノース 4F G420）

8:30～10:30

### シンポジウム 118

依存症を特別視しない若手精神科医の実践

司会：入来 晃久

大阪精神医療センター精神科

濱本 妙子

医療法人サザカム会三国丘病院

SY118-1

若年女性の依存的行動に対して～その背景をどう聞き、どう活かすか～

○川合 優子

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

SY118-2

依存症診療は本当に難しいのか？ 一駆け出し精神科医の臨床経験から～

○加藤 剛

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター精神科

**SY118-3** 読んだ本と上司のおかげで気づいたら依存症ネイティブになっていた

○大杉 文宏  
大杉内科医院

**SY118-4** 目の前にいる人の感情、価値観、困りごとに関心をもつことの重要性

○西村 康平  
神奈川県立精神医療センター

**【指定発言者】**

小林 桜児  
神奈川県立精神医療センター

**【指定発言者】**

成瀬 暢也  
埼玉県立精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 濱本 妙子 医療法人サヂカム会三国丘病院  
〈サブコーディネーター〉 入来 晃久 大阪精神医療センター精神科  
川合 優子 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

10:40~12:40 **シンポジウム 119**  
「意識」を臨床するー精神と神経をつなぐ架け橋を目指して

司会：西原 真理 愛知医科大学病院いたみセンター  
兼本 浩祐 愛知医科大学精神科学講座

**SY119-1** 意識が無いとは限らないAIは、「愛」を理解するか？

○久保田 泰考  
滋賀大学保健管理センター/パリ・シテ大学精神分析医学社会研究センター

**SY119-2** 意識障害における解離の位置づけ、また精神科と神経内での解離の乖離

○兼本 浩祐  
中部PNESリサーチセンター

**SY119-3** 精神科医が考える意識と神経生理の関わり

○西原 真理  
愛知医科大学病院いたみセンター

**SY119-4** 精神科領域の意識の理解への手がかりとして脳波マイクロステイト解析を用いる

○西田 圭一郎  
大阪医科薬科大学医学部神経精神医学教室

**SY119-5** PTSDにおける意識のダイナミクス：相反抑制が駆動する再体験と解離の交替

○千葉 俊周  
国際電気通信基礎技術研究所行動変容研究室

〈メインコーディネーター〉 西原 真理 愛知医科大学病院いたみセンター  
〈サブコーディネーター〉 兼本 浩祐 愛知医科大学精神科学講座



14:05~16:05

### シンポジウム 120

自律神経バイオマーカーを様々な精神医療場面で活用する

司会：榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科

SY120-1

#### 睡眠覚醒と自律神経

角谷 寛、○角 幸頼

滋賀医科大学精神医学講座

SY120-2

#### ウェアラブルデバイスを用いたメンタルヘルス評価の検証

○中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

SY120-3

#### 心拍変動データ等を用いたプログラム医療機器・ヘルスケア機器開発

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

SY120-4

#### 電気けいれん療法と心拍変動

○宮島 美穂

東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野

SY120-5

#### 精神科日常臨床における自律神経検査の利用

○榛葉 俊一

静岡済生会総合病院精神科

〈メインコーディネーター〉 榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科

## 6月20日(土) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1~G4)

8:30~9:30

### 一般演題 34

統合失調症とその類縁5

司会：中島 振一郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

3-FP34-1

#### 統合失調症における社会機能の長期予後調査：T-PROGRESS 中間報告

○森 湧平<sup>1</sup>、宍戸 理紗<sup>1</sup>、日野 瑞城<sup>2</sup>、佐藤 亜希子<sup>1</sup>、長岡 敦子<sup>3</sup>、旗野 将貴<sup>1,4</sup>、細貝 優人<sup>1,5</sup>、  
富士 耕平<sup>3</sup>、水田 和穂<sup>3</sup>、鹿野 晃牙<sup>3</sup>、関 真裕子<sup>3</sup>、門倉 真由<sup>3</sup>、宮原 一総<sup>3</sup>、和田 知紘<sup>6</sup>、  
森田 直希<sup>6</sup>、錫谷 研<sup>7</sup>、鈴木 二妙香<sup>7</sup>、羽金 裕也<sup>5</sup>、佐藤 李子<sup>5</sup>、岩崎 由香<sup>8</sup>、丹治 良<sup>8</sup>、斎藤 智樹<sup>9</sup>、  
福地 雄太<sup>9</sup>、稲田 翔太<sup>10</sup>、富田 博秋<sup>2,3</sup>、國井 泰人<sup>2,3</sup>、三浦 至<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学神経精神医学講座、<sup>2</sup>東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、<sup>3</sup>東北大学病院精神科、

<sup>4</sup>一般財団法人桜ヶ丘病院、<sup>5</sup>医療法人済精会長橋病院、<sup>6</sup>一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院、

<sup>7</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、<sup>8</sup>一般財団法人新田目病院、<sup>9</sup>医療法人為進会寿泉堂松南病院、

<sup>10</sup>公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院

3-FP34-2

#### 幻覚薬の効果はL-ドーパ受容体GPR143欠損マウスで増強する

○五嶋 良郎<sup>1,3</sup>、田近 怜<sup>1</sup>、市丸 嘉<sup>2</sup>、栗原 正明<sup>2</sup>、鈴木 勉<sup>2</sup>、増川 太輝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学薬理学、<sup>2</sup>湘南医療大学薬学部、<sup>3</sup>横浜薬科大学

3-FP34-3

#### 当院精神科救急医療センターにおける統合失調症初回治療例の薬物療法に関する追跡調査

○坂口 寛樹、稲村 則基、見野 耕一、青山 慎介

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

3-FP34-4

### 統合失調症におけるうつ症状と労働生産性に関する48週間の前方視的観察研究

○根本 隆洋<sup>1,2</sup>、内野 敬<sup>1,2</sup>、池田 竜<sup>1</sup>、野坂 忠史<sup>3</sup>、馬場 健次<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座、  
<sup>3</sup>住友ファーマ株式会社R&D本部メディカルアフェアーズ部

3-FP34-5

### 側脳室拡大 (EV) と認知機能障害 (CI) があるEVCI患者と統合失調症患者の認知機能プロファイル比較

○松本 純弥<sup>1</sup>、伊藤 颯姫<sup>1</sup>、住吉 チカ<sup>1,2,3</sup>、安田 由華<sup>1,4</sup>、藤本 美智子<sup>1,5</sup>、山森 英長<sup>1,6,7</sup>、住吉 太幹<sup>3,8</sup>、  
橋本 亮太<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>2</sup>福島大学人間発達文化学類、  
<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、  
<sup>4</sup>医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック、  
<sup>5</sup>大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター保健管理部門、  
<sup>6</sup>大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学教室、  
<sup>7</sup>独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院神経精神科、<sup>8</sup>ナショナルセンター医療研究連携推進本部

3-FP34-6

### 過呼吸賦活でbig build-upを認め、抗てんかん薬投与により、脳波所見及び精神症状の改善を認めた一例

○橋本 和子

社会医療法人芳和会菊陽病院

8:30~9:30

## 一般演題 35

### 社会精神医学 (AI)

司会：吉田 和生 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

3-FP35-1

### デジタル・デバイドに配慮したアバターシステムによる慢性期統合失調症患者の社会技能訓練

○冠地 信和<sup>1,4</sup>、吉川 雄一郎<sup>2</sup>、宮下 敬宏<sup>3</sup>、谷口 大輔<sup>4</sup>、塚崎 稔<sup>4</sup>、石黒 浩<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学病院精神科、<sup>2</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科、<sup>3</sup>株式会社国際電気通信基礎技術研究所、  
<sup>4</sup>医療法人清潮会三和中央病院

3-FP35-2

### 音声バイオマーカーを用いた抑うつ症状の重症度評価に関する新規技術

○川島 啓嗣<sup>1</sup>、水口 大輔<sup>2</sup>、周 迪<sup>2</sup>、大宮 康宏<sup>2</sup>、山本 洗<sup>2</sup>、村井 俊哉<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院緩和医療科、<sup>2</sup>PSTメディカル株式会社、  
<sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

3-FP35-3

### 大規模言語モデルは人工的安全基地となりうるか—愛着形成と再外傷化のオートエスノグラフィー

○伊藤 珠野

久居病院精神科

3-FP35-4

### 支持的精神療法、精神分析療法を行うChatGPT-5が生成する発話の検討

○深尾 琢

岐阜大学保健管理センター

3-FP35-5

### 「脳疲労」とは何か? ~ 「AIドクター Mente」を使ったオンライン調査研究

○樺沢 紫苑<sup>1</sup>、近澤 徹<sup>2</sup>、稲川 舞織<sup>3</sup>

<sup>1</sup>樺沢心理学研究所、<sup>2</sup>(株)Medi Face、<sup>3</sup>University of Reading, Department of Mathematics and Statistics

3-FP35-6

### デジタル社会における精神世界の変容—SNSとAIの影響から

○伊集院 由佳<sup>1,2</sup>、伊集院 清一<sup>1,3,4</sup>

<sup>1</sup>東京アートセラピー研究所、<sup>2</sup>一般社団法人日本美術家連盟、<sup>3</sup>多摩美術大学、<sup>4</sup>虎の門病院



8:30~9:30

## 精神科専門医研修中の医師 12

司会：嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

3-RP12-1

### 妊娠中に深部静脈血栓症を発症した片頭痛・不安神経症の一例

○木下 智博<sup>1</sup>、谷山 香織<sup>2</sup>、岡田 誠史<sup>3</sup>、江本 永真<sup>4</sup>、黄 裕子<sup>5</sup>、久留嶋 祥吾<sup>1</sup>、新藤 良太<sup>1</sup>、大谷 恭平<sup>1</sup>

<sup>1</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科、

<sup>2</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院消化器内科、

<sup>3</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院脳神経内科、

<sup>4</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院産婦人科、

<sup>5</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院看護部

3-RP12-2

### 垂水病院におけるギャンブル依存症プログラムについて

○福井 裕明<sup>1</sup>、高田 涼平<sup>1</sup>、西 佑記<sup>1</sup>、法山 勇樹<sup>1</sup>、麻生 克郎<sup>2</sup>、山本 訓也<sup>2</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学附属病院精神科、<sup>2</sup>公益財団法人復光会垂水病院

3-RP12-3

### アルコール使用障害患者に対する入院治療プログラムの効果

○石井 亮、久保 泰隆、李 智祥、矢崎 和夫、中島 政美、関口 秀文

医療法人高柳会赤城病院

3-RP12-4

### せん妄と痙攣を伴う離脱症状を呈したブロムワレリル尿素慢性中毒の1例

○小幡 尚輝<sup>1</sup>、山口 征吾<sup>2</sup>、入江 舜<sup>1</sup>、村竹 佑太<sup>1</sup>、渡部 雄一郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>魚沼基幹病院精神科、<sup>2</sup>魚沼基幹病院救急科

3-RP12-5

### 栃木県立岡本台病院におけるアルコール依存症外来治療の継続要因に関する研究 第4報

○山下 越史<sup>1</sup>、三浦 佑和<sup>1</sup>、田尻 智哉<sup>2</sup>、田崎 みなみ<sup>1</sup>、天野 訖<sup>1</sup>、下田 和孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>地方独立行政法人栃木県立岡本台病院診療科、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院

3-RP12-6

### 不眠時薬剤使用フローチャート導入の転倒・転落およびせん妄発生への影響～ Interrupted Time Series 解析～

○舟橋 敏之<sup>1</sup>、南 博也<sup>1</sup>、西澤 由貴<sup>1</sup>、畑 武生<sup>2</sup>、新田 雅彦<sup>3</sup>、金沢 徹文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学病院精神神経科、<sup>2</sup>大阪医科薬科大学病院医療情報システム課/薬剤部、

<sup>3</sup>大阪医科薬科大学病院医療安全推進室

8:30~9:30

## 初期臨床研修中の医師、学部学生 1

司会：市来 真彦 東京医科大学学生・職員健康サポートセンター

3-SP1-1

### ソーシャルメディアの利用と希死念慮の関連—全国規模のインターネット調査を用いた横断研究

○谷口 侑生<sup>1</sup>、國井 泰人<sup>1,2</sup>、日野 瑞城<sup>1,2</sup>、濱家 由美子<sup>1</sup>、富田 博秋<sup>1,3,4</sup>、田淵 貴大<sup>5</sup>

<sup>1</sup>東北大学災害科学国際研究所、<sup>2</sup>福島県立医科大学神経精神医学講座、<sup>3</sup>東北大学病院精神科、

<sup>4</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、<sup>5</sup>東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

3-SP1-2

### 妊娠期の孤独感が産後うつ病および母子ボンディング障害に及ぼす影響

○藤村 真里<sup>1</sup>、陳 冲<sup>2</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、中川 伸<sup>2</sup>、田淵 貴大<sup>3</sup>

<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、

<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

3-SP1-3

### 診断に難渋した精神病様症状を呈する10歳女兒に対して、多面的な検討が有効であった一例

○齊藤 ひな、川原 紘子、岩永 健、熊崎 博一

長崎大学病院精神科神経科

3-SP1-4 当院における炭酸リチウム中断理由の分析および炭酸リチウム中断後の予後追跡

○中川 朝子、石田 琢人、藤原 翔太郎、布村 明彦  
東京都立松沢病院

3-SP1-5 離島の思春期精神科患者に、場の共有感を高めることが可能な遠隔操作型ロボットSota-100を用いた3例

○佐藤 志帆<sup>1</sup>、長谷川 達郎<sup>2</sup>、川田 恵<sup>3</sup>、吉川 雄一郎<sup>3</sup>、宮下 敬宏<sup>4</sup>、石黒 浩<sup>3</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学病院医療教育開発センター、<sup>2</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>3</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科、<sup>4</sup>国際電気通信基礎技術研究所

3-SP1-6 うつ病による食欲低下に対して行った末梢点滴に起因するMRSA血流感染から、感染性心内膜炎を発症した一例

○横山 康博、石田 琢人、福島 慧、稲生 宏泰、藤 雄一郎、布村 明彦  
東京都立松沢病院

9:30~10:30 一般演題 36  
児童・思春期精神障害4

司会：佐久間 睦貴 社会医療法人あさかホスピタル

3-FP36-1 子どもの精神病リスク早期スクリーニング・システム（CPSS）の予測能力は、その即時診断能力を上回る

○濱崎 由紀子<sup>1,2</sup>、阪上 由子<sup>3</sup>、道越 秀吾<sup>4</sup>、中山 貴夫<sup>1</sup>、上羽 智子<sup>5</sup>、六田 泰央<sup>6</sup>、磯部 昌憲<sup>6</sup>、  
疋田 貴俊<sup>7</sup>

<sup>1</sup>京都女子大学現代社会学部、<sup>2</sup>医療法人藤樹会滋賀里病院、<sup>3</sup>滋賀医科大学医学部小児科学講座、  
<sup>4</sup>京都女子大学データサイエンス学部、<sup>5</sup>済生会守山市民病院小児科、  
<sup>6</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）、<sup>7</sup>大阪大学蛋白質研究所高次脳機能学研究室

3-FP36-2 弁証法的行動療法を応用したアプローチを試みた、自傷行為を繰り返す自閉スペクトラム症のある小児の一例

○清水 直樹、小田 寛、原田 舟、新井 久稔、松尾 幸治、桑原 斉  
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

3-FP36-3 児童相談所の一時保護期間における再登校支援 ―福祉と教育との連携への支援―

○境 玲子、中山 浩  
川崎市南部児童相談所

3-FP36-4 片足立ち評価を通じた自閉スペクトラム症の定量的スクリーニングモデル検証

○川原 紘子<sup>1</sup>、清水 日智<sup>1</sup>、奥泉 大地<sup>2</sup>、寺田 和憲<sup>3</sup>、大本 義正<sup>4</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立大学法人長崎大学病院精神科神経科、<sup>2</sup>医療法人北水会北水会記念病院児童精神科、  
<sup>3</sup>国立大学法人岐阜大学工学部、<sup>4</sup>国立大学法人静岡大学情報工学部

3-FP36-5 児童精神科領域における医療―教育連携の実態：医師・教師の認識差に関する調査研究

○森 麻子<sup>1</sup>、船木 雄太郎<sup>2</sup>、花房 昌美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪精神医療センター精神科、<sup>2</sup>大阪府立刀根山支援学校

3-FP36-6 児童思春期専門医療を提供する精神科病院における初診患者の受診状況

○佐久間 睦貴<sup>1</sup>、関 英一<sup>1</sup>、笠原 麻里<sup>1,2</sup>、水野 雅文<sup>1</sup>、佐久間 啓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人あさかホスピタル、<sup>2</sup>医療法人財団青溪会駒木野病院



9:30~10:30

一般演題 37

社会精神医学(医療倫理)

司会：田形 弘実 東邦大学医学部精神神経医学講座

3-FP37-1

精神科入院患者の面会・電話制限の実態に関する後方視的調査

○富田 杏、齊藤 善貴、村岡 寛之、廣岡 孝陽、稲田 健

北里大学病院精神神経科

3-FP37-2

非自発的入院時における認知症患者への病名告知

○中澤 慧<sup>1</sup>、中島 政美<sup>1</sup>、大嶋 明彦<sup>1</sup>、大森 美樹<sup>1</sup>、草野 建祐<sup>1</sup>、渡邊 由佳<sup>2</sup>、関口 秀文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>高柳会赤城病院精神科、<sup>2</sup>獨協医科大学日光医療センター

3-FP37-3

完全開放精神科病院の試み

○金川 英雄

公益財団法人神経研究所附属晴和病院

3-FP37-4

血管アクセス治療が必要となった血液透析中の統合失調症患者において意思決定能力評価を行なった一例

○藤本 宏<sup>1</sup>、宮下 結衣<sup>1</sup>、田中 綾子<sup>1</sup>、三上 聡司<sup>1</sup>、井家上 讓<sup>2</sup>

<sup>1</sup>社会医療法人三上会東香里病院、<sup>2</sup>社会医療法人三上会東香里第二病院

3-FP37-5

身体治療を拒否する妄想性障害患者に対し経時的関与で判断改善を得た一例

○谷保 康一、大橋 愛子、熊崎 博一

長崎大学病院精神科神経科

3-FP37-6

多職種連携推進委員会活動による患者・職員双方の満足度向上に向けた取組

○新開 隆弘

産業医科大学精神医学教室

9:30~10:20

初期臨床研修中の医師、学部学生 2

司会：安藝 森央 京都大学医学部附属病院精神科神経科

3-SP2-1

コマネジメント導入により、全身管理安定化と精神科医師の負担軽減に成功した最重症神経性無食欲症の一例

○塚崎 遼<sup>1</sup>、夏山 竜一<sup>2</sup>、田山 達之<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部医学科、<sup>2</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室

3-SP2-2

札幌医科大学医学附属病院に自殺企図により救急搬送された小中高生の実態

○服部 瞳子<sup>1</sup>、河西 千秋<sup>2</sup>、古俣 皓涼<sup>2</sup>、石橋 竜太郎<sup>2</sup>、佐野 智章<sup>2</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院臨床研修センター、<sup>2</sup>札幌医科大学医学部精神医学講座

3-SP2-3

入院患者における年齢層別のせん妄発生リスクと睡眠導入剤使用との関連：後方視コホート研究

○片山 彰仁<sup>1</sup>、中村 倫之<sup>2</sup>、逸見 竜次<sup>2</sup>、小曾根 基裕<sup>2</sup>

<sup>1</sup>久留米大学医学部医学科、<sup>2</sup>久留米大学神経精神医学講座

3-SP2-4

うつ症状の改善後に顕在化したアルツハイマー病による軽度認知障害の一例

○廣田 友汰<sup>1</sup>、吉田 朋広<sup>2</sup>、中山 知彦<sup>2</sup>、富岡 有紀子<sup>2</sup>、中瀧 理仁<sup>2</sup>、沼田 周助<sup>2</sup>

<sup>1</sup>徳島大学病院卒後臨床研修センター、<sup>2</sup>徳島大学病院精神科神経科

- 3-SP2-5 不安症状が感情制御困難を介してスマートフォン依存傾向に及ぼす影響：DERSを用いた媒介分析  
○寺島 凜太郎<sup>1</sup>、稲熊 徳也<sup>1,2</sup>、船渡川 智之<sup>2</sup>、関崎 亮<sup>3</sup>、水野 雅文<sup>4</sup>、根本 隆洋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京都立松沢病院、<sup>2</sup>東邦大学大学院医学研究科精神神経医学講座、<sup>3</sup>桐生第一高等学校、<sup>4</sup>あさかホスピタル

9:30~10:20 初期臨床研修中の医師、学部学生 3

司会：紀本 創兵 和歌山県立医科大学神経精神医学講座

- 3-SP3-1 非典型的臨床経過から抗leucine-rich glioma-inactivated 1 (LGI1) 抗体陽性脳炎を疑い、診断に至った一例  
○関根 寛太<sup>1</sup>、石田 琢人<sup>1</sup>、林 健太郎<sup>1</sup>、矢野 光一<sup>2</sup>、稲生 宏泰<sup>1</sup>、寺島 凜太郎<sup>1</sup>、布村 明彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都立松沢病院、<sup>2</sup>東京都立多摩南部地域病院
- 3-SP3-2 せん妄治療薬選択の標準化に向けた専門家コンセンサス：デルファイ法による臨床判断基準の精緻化  
○尾崎 遥<sup>1</sup>、大橋 愛子<sup>2</sup>、清水 日智<sup>2</sup>、浦島 佳代子<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学病院医療教育開発センター、<sup>2</sup>長崎大学医学部 精神神経科学教室
- 3-SP3-3 報酬の時間割引による将来抑うつ・不安症状の予測  
○安井 咲樹<sup>1</sup>、陳 冲<sup>2</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、小林 廉<sup>1</sup>、藤村 真里<sup>1</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座
- 3-SP3-4 強い治療拒否に対して、意思決定へのサイトメガロウイルス脳炎の影響を疑い治療した結果、奏功した一例  
○河本 賢実、石田 琢人、本田 奈々瀬、沼田 直幸、河野 駿、布村 明彦  
東京都立松沢病院
- 3-SP3-5 演題取り下げ

10:40~11:40 一般演題 38  
睡眠障害

司会：鈴木 正泰 日本大学医学部

- 3-FP38-1 ラメルテオンの使用と転倒・骨折リスクの関連：系統的レビューとメタ解析  
○祖川 倫太郎<sup>1</sup>、中野 祐樹<sup>1</sup>、小武 和正<sup>2</sup>、立石 洋<sup>3</sup>、溝口 義人<sup>3</sup>、門司 晃<sup>4</sup>、島ノ江 千里<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院薬剤部、<sup>2</sup>公益財団法人慈圭会慈圭病院、<sup>3</sup>佐賀大学医学部精神医学講座、<sup>4</sup>医療法人慈光会若久病院
- 3-FP38-2 脊髄小脳変性症に合併した不眠に対してオレキシン受容体拮抗薬ダリドレキサントが有効であった一例  
○上田 真莉子<sup>1</sup>、秋田 玄武<sup>2</sup>、近藤 大貴<sup>3</sup>、西村 活也<sup>1</sup>、松山 浩子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>稲美しんわ病院、<sup>2</sup>仕事とこころのクリニック、<sup>3</sup>三宮駅前こころのクリニック
- 3-FP38-3 新規睡眠薬の使用と股関節骨折リスク：日本の大規模データベースを用いたコホート研究  
○吉沢 和久、竹島 正浩、三島 和夫  
秋田大学医学研究科精神科学講座
- 3-FP38-4 精神疾患患者におけるウェアラブル脳波計を用いた自動睡眠段階分類モデルの開発  
○小笠原 正弥、三島 和夫  
秋田大学医学部附属病院精神科



3-FP38-5

睡眠時無呼吸症候群に対して持続式陽圧換気を行う前後でのMRI脳画像比較による治療効果の評価

○村川 徹<sup>1,2</sup>、白石 匠<sup>1</sup>、國武 裕<sup>1</sup>、立石 洋<sup>1</sup>、松島 淳<sup>1</sup>、國武 浩子<sup>1</sup>、小島 亮平<sup>1</sup>、高田 拳<sup>1</sup>、  
斯波 翔太<sup>2</sup>、平野 正貴<sup>1</sup>、深井 愛理<sup>1,3</sup>、友成 央<sup>1,3</sup>、稲吉 大地<sup>1</sup>、門司 晃<sup>1,4</sup>、溝口 義人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>医療法人財団友朋会嬉野温泉病院、<sup>3</sup>医療法人浄心会園田病院、  
<sup>4</sup>医療法人慈光会若久病院

3-FP38-6

Associations between Sleep Structure and Multidomain Cognitive Performance in Healthy Adults

○Yun Hsuan Lin<sup>1</sup>、Hsin Jung Tsai<sup>1,2</sup>、Shih Jen Tsai<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>Institute of Brain Science, National Yang Ming Chiao Tung University, Taiwan、

<sup>2</sup>Sleep Research Center, National Yang Ming Chiao Tung University, Taiwan、

<sup>3</sup>Department of Psychiatry, Taipei Veterans General Hospital, Taiwan

10:40~11:30

### 一般演題 39

#### 神経症性障害とその類縁3

司会：宮内 和瑞子 医師会宮内クリニック

3-FP39-1

巻き込み症状は強迫症の疾病構造維持要因の中核なのか～構造方程式モデリングによる多角的関連性検討

○向井 馨一郎、荻野 俊、細井 幸彦、横角 えりさ、山西 恭輔、林田 和久、松永 寿人  
兵庫医科大学精神科神経科学講座

3-FP39-2

周産期における症状再燃予防としての薬物療法継続の意義：強迫症の2例

○松本 佳大、阿部 能成、渡辺 杏里、井川 春樹、中前 貴、成木 迅  
京都府立医科大学附属病院精神科

3-FP39-3

身体醜形症について

○原井 宏明<sup>1,2</sup>、松浦 文香<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>原井クリニック精神科、<sup>2</sup>株式会社原井コンサルティング&トレーニング

3-FP39-4

精神科医療における外傷的死別に対する看護師の悲嘆反応と外傷反応

○大屋 久晴<sup>1,2</sup>、中西 健太<sup>2</sup>、吉田 聡<sup>2</sup>、酒井 崇<sup>2</sup>、鈴木 國文<sup>2</sup>、安藤 琢弥<sup>2</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科精神認知行動医学、<sup>2</sup>医療法人人生会松蔭病院

3-FP39-5

ローカルスリープとダイナミックコア仮説によって解き明かす解離症のメカニズム

○荒田 智史

医療法人FLATSヒルサイドクリニック

10:40~11:30

### 初期臨床研修中の医師、学部学生 4

司会：鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座

3-SP4-1

fMRI研究に基づく父親の子どもに対する情緒的絆と子育ての神経基盤に関する系統的レビュー

○高木 麻衣、菊地 紗耶、小林 奈津子、岩渕 賢嗣、小松 浩、小野口 豪、富田 博秋、杉浦 元亮  
東北大学大学院医学系研究科

3-SP4-2

自閉症スペクトラム症患者の社会参加支援におけるアバターシステムの実装と今後の展望

○永尾 通章<sup>1</sup>、小川 実里<sup>1</sup>、西川 菜月<sup>1</sup>、吉川 雄一郎<sup>2</sup>、宮下 敬弘<sup>3</sup>、上出 寛子<sup>4</sup>、石黒 浩<sup>2</sup>、熊崎 博一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>2</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科、<sup>3</sup>株式会社国際電気通信基礎技術研究所、  
<sup>4</sup>京都大学法医学研究科

3-SP4-3

**自傷目的で鋭利な異物を繰り返し摂取する解離性障害の一例**

○金沢 孔明、石田 琢人、和氣 仁美、池本 正平、田波 秀明、三角 純子、布村 明彦  
東京都松沢病院

3-SP4-4

**SDMの実践により、抗アミロイド抗体療法導入に至ったApo E ε 4/ ε 4保有若年性アルツハイマー病患者の一例**

○佐々木 優子<sup>1</sup>、品川 俊一郎<sup>2</sup>、高崎 恵美<sup>2</sup>、互 健二<sup>2</sup>、曾根 大地<sup>2</sup>、竹内 千仙<sup>3</sup>、鬼頭 伸輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学医学部医学科5年、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学遺伝診療部

3-SP4-5

**クロミプラミン点滴静注は重症うつ病に有効か：反応性に関連する臨床因子の後方視的解析**

○福島 慧、石田 琢人、大木 絵美梨、布村 明彦  
東京都立松沢病院

10:40~11:40 **初期臨床研修中の医師、学部学生 5**

司会：小口 芳世 帝京大学医学部附属溝口病院精神科

3-SP5-1

**AI活用場面における5歳児健診従事者のTrust Calibration：規定因子の探索的分析**

○辻田 哲治<sup>1</sup>、志方 有莉<sup>2</sup>、川原 紘子<sup>2</sup>、清水 日智<sup>2</sup>、寺田 和憲<sup>3</sup>、大本 義正<sup>4</sup>、熊崎 博一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本赤十字社長崎原爆病院、<sup>2</sup>長崎大学医学部精神神経科学教室、<sup>3</sup>岐阜大学工学部電気電子・情報工学科、<sup>4</sup>静岡大学情報学部行動情報学科

3-SP5-2

**重度精神疾患患者の周術期における精神症状の変化に関する調査**

○久保田 真帆、石田 琢人、布村 明彦  
東京都立松沢病院

3-SP5-3

**精神科介入により予後改善を得られた、中枢性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に合併した器質性精神障害の1例**

○松永 敏延、清水 日智、夏山 竜一、熊崎 博一  
長崎大学病院

3-SP5-4

**重大な他害行為歴を持つ長期入院統合失調症患者におけるLAI導入の効果**

○曾我 鷹平、石田 琢人、乾 剛、布村 明彦  
東京都立松沢病院

3-SP5-5

**演題取り下げ**

3-SP5-6

**大学生を用いた男女の身体活動量の性差に関する実態調査**

○小林 廉<sup>1</sup>、陳 冲<sup>2</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、安井 咲樹<sup>1</sup>、藤村 真里<sup>1</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学医学部医学科、<sup>2</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座